

人文学部プロジェクト活動

人文学部は、以下のプロジェクトに戦略的経費（研究プロジェクト助成）を配分しています（右は代表者名）。

刊行物助成

英語と英米文学	太田 聡
独仏文学	下寄 正利
山口地域社会研究	速水 聖子
山口大学哲学研究会	柏木 寧子

『英語と英米文学』

『英語と英米文学』は、山口大学人文学部・教育学部・経済学部・国際総合科学部・教育支援センターに所属する教員グループが、年1回刊行している学術研究誌である。メンバーは現在13名で、このうち人文学部教員は欧米言語文学コース所属の6名（岩部浩三、太田聡、上田由紀子、池園宏、外山健二、カテリーナ・オリハ）である。掲載内容は各メンバーの日頃の研究成果を反映した論文等で、その領域は英語学・英米文学・英語教育・英語圏文化など多岐にわたっている。1965年に創刊された本誌は半世紀以上に及ぶ歴史があり、今年度で第58号の刊行を迎えた。そして、今号は「岩部浩三教授退職記念号」となった。最新号の掲載内容は以下の通りである。

1. On Unenhanced Scope in English Sluicing
(Yukiko UEDA : 人文学部)
2. Use of Hedges in English and Japanese: A Comparative Study of Empirical Research Articles by Native English and Japanese Writers
(Kayo FUJIMURA-WILSON : 経済学部)
3. Role of the Specific-Non-specific Distinction in the Acquisition of English Articles by Japanese

Learners of English and Stages of Article Acquisition

(Toshiaki TAKAHASHI : 教育学部)

なお、人文学部から配分された戦略的経費（研究プロジェクト助成）は、今年度の刊行・発送に要する費用の一部として有効に活用されている。また、本誌の電子版は山口大学学術機関リポジトリYUNOCAにより学内外に広く公表されている。これらの支援を受け、『英語と英米文学』は今後も継続的に各研究者の活動成果の公表に寄与していく予定である。

(太田 聡)

『独仏文学』第45号

山口大学独仏文学研究会が刊行している『独仏文学』は、ドイツ語文化圏およびフランス語文化圏の文学や言語学をはじめ、文化、歴史、社会、美術など幅広い分野の研究論文を掲載する学術雑誌である。当雑誌では、投稿論文の質を確保するため、2018年の総会の決定に基づき査読制度が導入されている。今年度、編集委員会は、学外の研究者3名に審査を依頼した。第45号に掲載されるのは次の3本である。

1. Michel de Boissieu : *Secrets d'une âme et Une page folle : donner un sens aux rêve – ou non*
2. 武本雅嗣：英語の非接触動詞の外的所有者構文について
3. 下寄正利：ゲルマン語強変化動詞第2種の歴史の変遷 (3)

(下寄 正利)

「山口地域社会研究」プロジェクト報告

「山口地域社会研究」プロジェクトは山口地域社会学会の研究活動を中心としており、現在に至るまで、例年2回の研究例会の開催、ならびに年1回の学会誌『やまぐち地域社会研究』の発行を継続して行っている。研究例会は、会員によるそれぞれの研究発表を毎回2~3本ずつ報告する形で行われ、活発な意見交換がなされている。人文学部の現教員は横田尚俊・速水聖子（現代社会学）、高橋征仁・桑畑洋一郎（社会心理学）、谷部真吾・小林宏至・山口睦（民俗学・文化人類学）の計7名で、社会学コースの教員全員が学会員である。さらに、経済学部や教育・学生支援機構、時間学研究所所属の教員会員のほか、大学院人文科学研究科（修士課程）と大学院東アジア研究科（博士課程）の学生会員もおり、例会は教員のみならず大学院生の研究成果発表として大きな役割を担ってもし

る。

2023年は、対面での開催は7月の例会のみであり、11月の例会は会員の都合により見送られた。

第54回研究例会は7/29（土）に人文学部小講義室で開かれ、「SNSをめぐるフェミニズム議題の変容」（山口大学大学院人文科学研究科 屈融）、「山口県の香典の実態と変遷—山口県文書館所蔵資料の検討—」（山口大学 山口睦）、「ホップズの秩序問題における〈家畜化〉のメタファー」（山口大学 高橋征仁）の3本の報告がなされた。

例会はフロアも交えて活発にディスカッションが行われた。今年度の研究例会の成果を踏まえて、年度末に学術雑誌『やまぐち地域社会研究』（第21号）を刊行する予定であり、現在、編集作業を準備しているところである。

(速水 聖子)

『山口大学哲学研究』

『山口大学哲学研究』は、山口大学哲学研究会が毎年刊行する会誌である。山口大学哲学研究会は、山口大学に所属する哲学・思想系の教員を中心とする組織で、会誌の刊行のほか、合評会、研究発表会などの活動を行っている。現在、正会員（学内の常勤職員である会員）は12名で、そのうち人文学部の教員は、ジュマリ・アラム、伊藤裕水、柏木寧子、栗原剛、藤川哲、村上龍、横田蔵人、脇條靖弘の8名である。他部局の正会員は、田中智輝（教育学部）、山本勝也（経済学部）、小川仁志（国際総合科学部）、小山虎（時間学研究所）の4名である。また、名誉会員（過去に山口大学に所属したことのある学外の会員）は22名で、そのうち人文学部の元教員は、上野修、遠藤徹、加藤和哉、木村武史、周藤多紀、武宮諱、田中均、外山（松本）紀久子、林文孝、古荘真敬、頼住（佐藤）光子の11名である。2023年度は、柏木寧子（人文学部）と小山虎（時間学研究所）が運営

委員を担当した。

本年度も例年通り会誌『山口大学哲学研究』の刊行を続けた。2023年3月（昨年度）刊行の第30巻は、年度をまたいだ2023年4月、会員諸氏・諸機関宛てに送付した。掲載論文等は、「トマス・アキナスにおける徳のモドゥス」（周藤多紀）、「『今昔物語集』天竺部における釈迦仏入滅の理解」（柏木寧子）、「非存在主義に基づいたアイデア論解釈:最初の試み」（脇條靖弘）、「ベルクソンの「持続」における「回顧性」の契機:ジャンケレヴィッチ、メルロ＝ポンティを手がかりに」（村上龍）、「研究ノート」香月泰男『画家のことば』索引（2）（藤川哲）の五本である。刊行に際し、人文学部より支給された「刊行物助成経費」を、印刷・製本費用の一部に充てさせていただいた。また、第31巻は2024年3月刊行の見込みであり、栗原剛、伊藤裕水、柏木寧子、村上龍、藤川哲（掲載予定順）の各氏による研究論文等の掲載が予定されている。

（柏木 寧子）

山口大学人文学部異文化交流施設事業

交流部門事業

公開講演会

年度	開催日	講演者	国	所属機関	演題
令和5	2023.2.11	ジャブコ・ユリヤ	ウクライナ	茨城キリスト教大学 文学部	ロシアによるウクライナ戦争 —言語の関係—

研究部門事業

研究プロジェクト

年度	プロジェクト	代表者
令和5	考古学研究基礎資料データベースの作成	村田 裕一
	古代ローマ帝国時代における「郊外」の歴史学のための予備的研究	南雲 泰輔
	近代日本社会における贈答習俗についての文化人類学的研究	山口 陸

地域連携プロジェクト

年度	プロジェクト	代表者
令和5	地方の若者における恋愛・結婚に対する意欲低下のメカニズム	高橋 征仁
	香月泰男研究の基盤整備としての人名・事項索引の作成、全自筆文献のOCR読み取り	藤川 哲

山口大学人文学部 異文化交流・研究活動

交流部門交流事業

1. 海外渡航 (R5.1~12)

年	渡航者氏名	訪問先	期間	目的	費用の出所
令和5	太田 聡	アメリカ	2023/7/1~7/16	アメリカ言語学会主催「2023言語学講座」のセッション2 (LSA 2023 Linguistic Institute, Session 2) に参加して、情報収集と討論を行う	科学研究費補助金(基盤C)
	藤川 哲	韓国	2023/6/27~7/2	光州ビエンナーレ展示館等で資料収集等を行う	私費等
	小林 宏至	中国	2023/7/29~8/4	義烏の調査(華僑のマイクロビジネスとオンラインメディア利用について)、宜興の調査(漢族のマイクロビジネスとオンラインメディア利用)、学术交流、共同研究の打ち合わせ等	研究基盤経費
	伊藤 裕水	中国	2023/8/10~8/16	学会参加(国際『尚書』学会)	私費等
	伊藤 裕水	韓国	2023/8/23~8/29	学会参加「第六屆國際東亞文獻研究學會學術大會」、調査「韓国の世界遺産のひとつでもある水原華城についての現地調査」	研究基盤経費
	黒羽 亮太	韓国	2023/8/23~8/29	朝鮮王陵の踏査、百済王都の踏査と出土資料の実見、百済王都の踏査と出土資料の実見、白村江の戦いの故地、および対外交通に関わる祭祀遺跡の踏査、韓半島における古代銅製錬遺跡の踏査、新羅王城の踏査および出土資料の実見、新羅寺院の踏査(韓国)	研究基盤経費
	伊藤 裕水	中国、台湾	2023/9/15~9/21	「南京論壇」の参加、銭宗武教授との打ち合わせ、国立故宮博物院での調査	私費等
	鈴木 舞	台湾	2023/10/14~10/19	殷周青銅器の実見、金属遺物の観察・分析方法についての研究打ち合わせ、殷墟遺跡出土青銅器の実見	私費等
	小林 宏至	中国	2023/10/19~10/24	貴州大学との学术交流、記念シンポジウム、貴州省内巡検	研究基盤経費(交付金) 東アジア
	更科 慎一	中国	2023/10/19~10/23	貴州大学との学术交流、記念シンポジウム、貴州省内巡検	研究基盤経費 東アジア
	竹中 幸史	フランス	2023/11/23~12/8	19世紀フランスの教育ならびに国王広場の比較研究に関する史料収集	科学研究費補助金(基盤C)
	鈴木 舞	台湾	2023/12/2~12/9	講演・学术交流、中国考古学関係資料の見学、研究打ち合わせ	私費等

2. 科学研究費補助交付

交付年度	研究種目	課題番号	代表者	研究課題名
令和5	基盤研究 (C)	18K00479	エムデ・フランツ	ジャンルの混交と共感覚—20世紀モデルネの文学・絵画の新たな受容
	基盤研究 (C)	18K01035	竹中 幸史	フランス国旗・国歌の歴史学—基礎的研究
	国際共同研究強化 (B) 【再延長】	18KK0009	乾 秀行	エチオピア諸語の記述とドキュメンテーション：ソーシャル・イノベーションにむけて
	基盤研究 (B)	19H01295	池田 勇太	「感情体制」と生きられた感情—エゴドキュメントに見る「近代性」
	基盤研究 (C)	19K00663	太田 聡	日英語対照による周辺的語形成過程の音韻的分析
	基盤研究 (C)	19K00977	池田 勇太	幕末維新政治史と儒教—熊本実学党の研究—
	若手研究	19K13202	安本 真弓	日本語形容詞の構文と意味に関する史的研究
	若手研究	19K14064	伊東 達也	読書施設における「日本的底流」の存在に着目した近世教育と近代教育の連続性の研究
	基盤研究 (B)	20H01589	桑畑 洋一郎	ハンセン病者の「生」と戦後日本社会—戦前・戦中との連続と断絶を視野に入れて
	基盤研究 (B)	20H04412	高木 智見	大正期日本の中国研究と第一次世界大戦前後の世界—内藤文庫所蔵資料を中心に
	基盤研究 (C)	20K00100	栗原 剛	『葉隠』の武士道における忠誠の再検討—「誠実」をめぐる日本倫理思想史学的研究
	基盤研究 (C)	20K00314	尾崎 千佳	連歌懐紙の書誌学的文献学的研究
	基盤研究 (C)	20K00389	池園 宏	カズオ・イシグロと音楽：創作の原点を探る
	基盤研究 (C)	20K00960	黒羽 亮太	山口県域の銅生産・銅銭鑄造関係古代出土文字資料を用いた政治・社会的地域特質の解明
	基盤研究 (C)	20K01098	村田 裕一	日韓弥生・古墳時代石硯・研石の再検討
	若手研究	20K13176	黒羽 亮太	文書の作成・活用・保存に着目した前近代朝廷儀礼の復原的研究
	若手研究	20K13283	小林 宏至	現代漢族社会における親族組織とサイバー空間
	基盤研究 (C)	21K00499	上田 由紀子	日本手話における指さしの生起環境に関する統語研究
	基盤研究 (C)	21K00528	上田 由紀子	日本手話における空頂解釈と関連要素の外在化に関する統語研究
	基盤研究 (C)	21K00924	南雲 泰輔	ローマ帝国時代におけるヘレニズム的世界認識の継承と変容の研究
	基盤研究 (C)	21K01924	高橋 征仁	庇護主義を超えて—ポストコロナ時代のリスク意識に関する国際比較研究
	基盤研究 (B)	22H00906	速水 聖子	過疎内包型地域圏の生活持続モデルの構築と検証：地域生活構造分析による解明
	基盤研究 (C)	22K01923	桑畑 洋一郎	天理教里親養育の社会的機能に関する社会学的研究—当事者へのインタビュー調査を元に
基盤研究 (B)	23H00878	桑畑 洋一郎	「隔離される客体」から「療養する主体」へ—ハンセン病者の生存をめぐる模索と実践	
学術図書	23HP5098	小林 宏至	土楼：円い空の下で暮らす福建客家の民族誌	

交付年度	研究種目	課題番号	代表者	研究課題名
	基盤研究（C）	23K00034	柏木 寧子	神仏共存と人倫存立の原理に関する倫理学的研究 ～日本思想の基軸の解明～
	基盤研究（C）	23K00034	栗原 剛	神仏共存と人倫存立の原理に関する倫理学的研究 ～日本思想の基軸の解明～
	基盤研究（C）	23K00840	真木 隆行	中世東寺長者とその拠点院家群に関する研究
	基盤研究（C）	23K00932	鈴木 舞	契丹金工品の考古学的研究－器物の形態・製作技法・金属成分からの検討－
	基盤研究（C）	23K01727	横田 尚俊	ポスト復興期における地域社会の災害対応ガバナンスに関する比較研究
	基盤研究（C）	23K01794	速水 聖子	育児支援ネットワークの地域特性と「子縁」のコミュニティの創発性に関する研究